

Cool Silver

公益社団法人 三田市シルバー人材センター

HEART

SMILE

LIKE



KIND

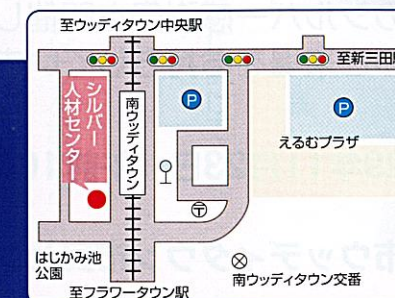
ACTIVE

ENJOY

お問い合わせ先

公益社団法人 三田市シルバー人材センター

(土・日・祝日および12月29日から1月3日を除く9時から17時)
〒669-1323 三田市あかしあ台5-32-2
TEL: 079-564-7501 FAX: 079-553-1300
E-mail sandasilver631015@sandasc.org
ホームページ www.sandasc.org/



目指せ！クールシルバー！

最近よく耳にするカタカナ言葉に、「クール」と言うのがあります。

ひと昔前までは「粋だね～」なんて言っていたものですが、何年か前のサッカーの国際試合で、日本人サポーターが試合後の客席を清掃し「クールジャパン」と称賛されるなど、いい意味で使われることが多くなっています。

以前は、「クール」と言うと、「冷たい」「冷淡」「冷静」または「冷酷」など、どちらかと言うと、感情を表に出さないタイプの人の形容詞として使われていたと思います。

しかし近年は、アフリカ系アメリカ人のブルーカラー層が、「イケてる!」「カッコいい!」と言った意味の俗語として使うようになり、日本でも若者を中心に定着しました。



じゃ、普通に「カッコいい」「イケてる」と言うのと、「クール」と言うのとでは何が違うのでしょうか。ただの「流行語」と言えばそれまでですが、あえて「クール」を使うには、それなりのイメージがそこにあるような気がします。



先の日本人サポーターの例を考えてみましょう。

客席のゴミを、さもダンスを踊るようにキレのある動作で拾ったとしたら、(「そんなヤツおるかいな!」と言わないでください。)単に「カッコいい」ですが、日本人サポーターの場合は、事もなげに平然とやってのけたところが「クール」と言われる所以でしょう。

なかなか真似をしようとしても、普段の行動や意識の持ち方が、しっかりしていないとできないのが、「クール」なんでしょうね。

「お・も・て・な・し」をはじめ、日本人には古くから相手の気持ちを重んじたり、周囲の人に気を配ったりする伝統が、その様な行動を生むのだと思います。

なので、海外からの「クール」の奥には、尊敬や感動と言った思いも含まれているかも知れません。

だとしたら、古くから規律正しい日本人として生活していたお年寄りこそ、「超クール」な人達と言えるでしょう。

俳優に例えると、高倉 健さんみたいに…

カッコよく年をとることが、究極の「クール」と言えるのではないのでしょうか!!



クールって言われると 照れくさいけど



やってみると カッコいい!

クールに行こうぜ…

軽い仕事でもって
ワークライフバランスをとって

どんな時代が来るのか
見ようじゃないか

ま、長く判らんけど
元気で 長生きして

何だ それほ?
俺たちは
このままがいいのか…

第四次産業革命進行中

AI(人工知能)が新たな事業や
サービスを生み出す

子どもの未来をクールに守る…

公園の遊具を黙々と守る3人のチームがある。彼らは市内にある大小合わせて162か所の公園を、雨の日も風の日もパトロールする。仕事内容は遊具やフェンスの点検、倒木の確認、ごみ拾いなど。遊具の確認は手や金づちで、1つ1つ丁寧にこなしている。



彼らは決して前には出ることせず、遊具で遊んでいる子どもがいれば、そっと見守るようにしている。時々、親御さんに声をかけ遊具の状態を聞くこともある。

密かに楽しみにしているのは、悪天候の時だ。子ども達には申し訳ないが、この時ばかりは意気揚々とパトロールをしている。なぜなら、悪天候は危険箇所や注意すべき箇所を多く確認できる絶好のチャンスだからだ。ここでしっかり仕事しておくことで、事故を未然に防げると思うと笑みがこぼれる。

このように、どんな環境下でも人知れずクールに作業ができるのは「子どもの命を預かっている」との強い使命感ではないだろうか。

平日の公園は人気が少ない、直接お礼を言われることはない。ただただ、きちんと仕事をする。全ては明るく元気な子どもたちの未来のために…。

女性はお洒落にクールに…

ウディタウンにお住いの西村 恵美子さんのお宅を伺いました。仲のいいご夫婦2人暮らしで、三田市に移り住んで30年になられますが、園芸好きな西村さんは、現在のお家に移られてから早速、若い頃にはできなかったガーデニングに熱中し、今ではご近所の方々とも種や苗の交換などで、楽しい輪が広がっているようです。



また、高校時代から習われていた生花は、師範を取得される腕前で、ご自宅では今朝生けられたお花が迎えられました。

今は病院からの依頼で、玄関ホールに週替わりの花を生けに行かれています。

「毎回どんなお花を、どうやって生けようかと考えるのが楽しくて…」と語られる笑顔がとてもステキ!



更に、大正琴サークルの代表も務められていますが、みんなでワイワイやっているのが楽しくて、お世話するのは苦にならないとのこと…

他にも書道や、お気に入りの小物をコレクションされたりと、ご自身の趣味を上手に取り入れたライフスタイルは、お洒落でクール。同じ女性であれば、憧れるところではないでしょうか。

勿論、そこにはご主人の陰の支えがあることは、言うまでもありませんね。

クールな人生…

羨ましいほど心身共に充実した日々を送っておられる、その原点をお伺いしたところ、予想外のお話しを聞くこととなりました。

18歳の大和田さんは、大学受験に失敗し生きる目標を失い、まさに人生のどん底でしたが、ふと、尊敬する元巨人軍監督の川上哲治氏が、打撃が不調のと

穏やかな笑顔の中に、信念と誠実さが伝わってくる人、大和田正夫さん(76歳)にお話を伺いました。

大和田さんの一日は、朝4時の起床に始まり、午後8時には就寝と言う規則正しい生活です。

早朝のウォーキングや気功をされていたこともあり、体を動かすことに積極的です。

また、播州清水寺では、読経と写経を行う「朝粥会」にも長年参加されています。



き、ある寺の老師から教えを乞い、立ち直ったという記事を想い出し、その寺を訪ねられたそうです。

その寺の老師に身の上を話したところ、そのまま滞りし、30人の修行僧達と寝食を共にする事を薦められました。

寺では、読経や禅問答、食事、清掃、茶道など全てが修業に通じると言う厳格な日々を、2年間過ごすこととなりました。

が、この時の体験が後に、大和田さんの人間形成に大きく影響することとなったのです。



花山院 仁王門

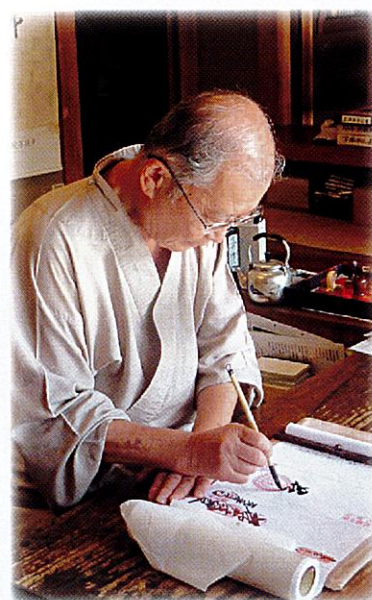
お寺を下山した後、大学に再挑戦し、サラリーマンの道を歩むことになりましたが、嫌いな仕事でも、転勤があっても苦にはならず、毎日を感謝の気持ちで過ごせたのも、寺での修業のお蔭で「何をやるでももう大丈夫だ」と言う自信が持てたからだそうです。

そんな大和田さんの趣味は、阪神タイガースの応援と競馬観戦、更に茶道や尺八、テニスと普通の人と変わりませんが、まだまだ新しいことに挑戦したいと前向きです。

その姿勢は終活にも表れ、既に墓地や戒名、お葬式の手配から遺書まで準備し、遺書は毎年書き換えるという徹底ぶりです。

現在の大和田さんは、西国三十三観音霊場番外花山院菩提寺で朱印帳の筆耕をされておられ、作務衣姿に身を包み、ピンと背筋を伸ばして筆を持つその姿は、穏やかな表情の中にも芯の強さを感じさせる本場に「クール」な佇まいです。

「二期一会」を大切にされる、そんな大和田さんに一度会いに行ってみてください。

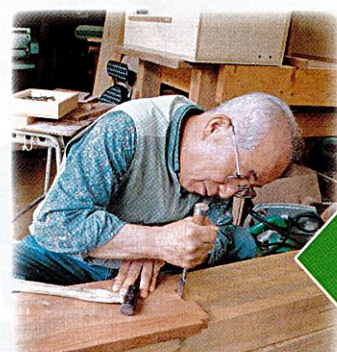


(撮影協力:花山院菩提寺)

Silver Meister

シルバーマイスター

これまで培ってきた経験や技術やセンスを存分に発揮して、クールに黙々と仕事をこなしています。



以前行っていたサービス業の経験を活かし、依頼者とのコミュニケーションを大切に、満足してもらえる仕事をめざします。

趣味は木彫。美術展にも出展する腕前で、家具の修繕など木工作業を、丁寧にしています。

真夏の炎天下でも仲間と共に汗を流し、きれいに除草された後の現場を見るのが楽しみです。その為にも、安全第一に徹します。

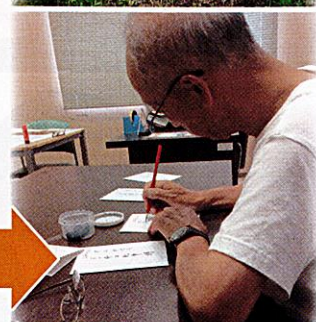
先輩会員が、真剣に仕事に取り組む姿勢に魅かれ、障子・襖張替の技術を受け継ぐ決意をしました。伝統を汚さぬよう、日々努力しています。

現役時代の庶務で得た経験を活かし、宛名書き、表彰状のほか、木材への筆耕にも対応しています。文字は、心を映す鏡だと思って筆を運びます。

草引きは地味で単純な作業。でも、仕事の結果が見て分かるので、いい加減な事はしません。

包丁など、道具を大事にしている依頼者の心に添えたいと、小野、三木、堺など、金物で有名な各地で、刃物研ぎの技術と知識を習得しました。

…皆さんからのご依頼お待ちしております。



第12回 シルバー感謝祭



市民の皆さまに感謝を込めて、今年も恒例のシルバー感謝祭を開催します。多数のご来場をお待ちしています。

日時
平成29年11月23日 午前10時から
場所
三田市ウディタウン市民センター

入会のご案内

三田市内にお住まいで、60歳以上の働く意欲のある方であれば、ご入会いただけます。

☆入会方法…毎月1回開催している入会説明会にご参加ください。(要事前申込み)

☆会費…3,000円(年会費)

☆説明会…毎月第2金曜日 13:30~
【開催予定】11月10日、12月8日、1月12日、2月9日、3月9日

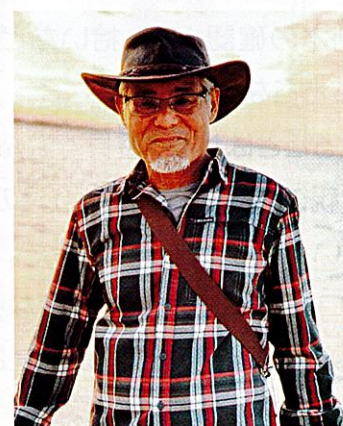
☆お申込み・お問合せ
三田市シルバー人材センター 事務局
TEL: 079-564-7501

ファッションチェック

Sanda Silver Collection



ワインレッドでお散歩を…



夕日と海と テンガロンハット



今日は スタイリッシュに



さりげなくエレガント



大好きな カジュアルスタイル



気分は ツールドフランス

ジャムのふた
 或る朝 主人が
 ジャムのふたをけんめいに開けている…
 開かない
 私が「ちょっと貸して」とピンを取ると
 「発で開けてしまった
 主人が「すげー」と言
 往年の句をまねて
 「わが夫 金も力もなかりけり」
 と言っと、間髪入れず
 「わが女房 カと鼻息 パワーアップ」
 と返ってきた。
 なかなかやるなーと思いつつ心の中で
 世間の風からは 貴方が頼もしい皆ですよ
 とつぶやいた…

